

平成28年度

事業報告

社会福祉法人こごた福社会

平成28年度 社会福祉法人こごた福社会法人本部 事業報告

■実習生の受け入れ（平成28年度事業計画「5」）

各事業所事業報告参照

■法人ホームページの維持管理（平成28年度事業計画「6」）

- ・新たに、「定款」「役員報酬基準」を掲載

■苦情解決（平成28年度事業計画「7」）

- ・第三者委員に新たな変更はなし
- ・苦情受付 3件

| | 時期 | 施設・事業所 | 申出者 | 内容・対応 |
|---|----|--------|------|---|
| 1 | 5月 | ひばり園 | 利用者様 | 特定の厨房職員の態度が乱暴だと別の職員に話がある。 当該職員から謝罪の上、対応の仕方について見直し、職員全員に周知を図った。 |
| 2 | 8月 | 万生園 | 地域の方 | 通院時の職員の利用者様に対する言動が乱暴だと石巻市に電話が入る。利用者様とのコミュニケーションの取り方（声の大きさ、方言といった表現等）について施設全体で見直しを図った。 |
| 3 | 2月 | ひばり園 | 利用者様 | 特定の生活相談員の態度に不満（なかなか対応してもらえない、いつ対応してもらえるのかも教えてもらえない）があると別の職員に話がある。 当該職員から謝罪の上、具体的な対応について説明、ご本人の了承を得た。 |

■個人情報保護（平成28年度事業計画「8」）

- ・入職時の個人情報保護に関する誓約書提出を引き続き徹底した
- ・特定個人情報取扱規程に基づき、マイナンバーの取扱いを行った

■施設維持管理体制（平成28年度事業計画「9」）

| 施設・事業所 | 内容 | 時期 | 備考 |
|-----------|---------------------|-----|-----|
| 万生園 | ・床暖房ラインポンプ整備工事 | 9月 | |
| | ・床暖房システム点検工事 | 10月 | |
| | ・床暖房温水ポンプ交換修理 | 12月 | |
| | ・呼出設備工事 | 12月 | |
| | ・昇降機バッテリー交換 | 1月 | |
| | ・エレベーター向け仕様変更工事 | 3月 | |
| | ・ESシステム入れ替え | 3月 | |
| 万生園ケアラウンジ | ・モノクロレーザー複合機導入 | 8月 | リース |
| ひばり園 | ・木部外壁・軒下塗装工事（6ユニット） | 4月 | リース |
| | ・コルクタイル張り替え | 4月 | |
| | ・分煙機入れ替え | 6月 | |
| | ・灯油ヒートポンプ室外機修繕 | 7月 | リース |
| | ・小型製氷機入れ替え | 7月 | |
| | ・床暖房システム点検工事 | 10月 | |
| | ・灯油ヒートポンプ室外機修繕 | 12月 | |

| | | | |
|--|-------------|----|--|
| | ・消火器28本入れ替え | 1月 | |
|--|-------------|----|--|

※1件の契約金額が10万円を超えるもの及び重要と思われるものを抜粋

※消防設備点検、厨房機器点検において大きな指摘なし

※第一種特定機器からの報告義務量に達する冷媒漏れなし

■福祉避難所（平成28年度事業計画「10」）

- ・開設実績なし

■養護老人ホーム万生園改築事業（平成28年度事業計画「11」）

- ・滞りなく指定書類を提出し、サービス対応の受領、七十七銀行への支払いを行った
- ・四半期毎のモニタリングを受け、適宜、運営状況の報告を行った

■地域貢献事業（平成28年度事業計画「12」）

| | 内容 | 摘要 |
|---|---|----------|
| 1 | ひばり園ショートステイ利用のご夫婦に対し、3日間の利用料のうち、基本利用料1人分8,070円を補助 | 実施要領1②虐待 |
| 2 | 万生園ショートステイ利用の母子に対し、日用品購入費9,837円を補助 | 実施要領1②虐待 |

■養護老人ホームひばり園大浴改修事業（平成28年度事業計画「12」）

宮城県担当者と補助金申請について協議したが、当該事業を対象とする補助金の枠組みがなく、対応は難しいとのことであった。今後は、自主財源による改修も含めて検討していく必要がある。

■養護老人ホームひばり園空調設備改修事業（平成28年度事業計画「12」）

「みやぎ環境税/省エネルギー・コスト削減実践支援事業」および経済産業省「省エネルギー・コスト削減実践支援事業」の対象となる可能性があることがわかり、補助金申請を視野に入れた計画の立案が必要である。

■理事会・監事監査・運営審議会の開催（平成28年度事業計画「15」）

(1) 理事会

| 開催年月日 | 出席者数/定数 | 議案 | 理事欠席者名 |
|--------------------------|-----------------------|---|--------|
| 第1回理事会 平成28年 5月25日 | 7名 /7名 (書面表決1名) | 第1号議案 「平成27年度事業報告」について（本部・施設・介護保険事業の各事業） 結 果：議長を除く、出席理事6名（うち書面表決1名）の賛成により承認 第2号議案 「平成27年度決算報告」について（本部・施設・介護保険事業の各事業） 結 果：議長を除く、出席理事6名（うち書面表決1名）の賛成により承認 報告事項 （1）理事長専決事項 ① 科目間流用について ② 職員の採用および退職者の報告について ③ 業務委託契約・リース契約および10万円以上の物品購入について (2) ひばり園移転新築にかかる七十七銀行からの借入金返済完了について | なし |

| | | | |
|---------------------------|-----------------------|---|---|
| | | (3) 苦情解決結果報告 (4) 利用者の個人番号通知カード等取扱要領について (5) 平成28年度短期宿泊事業契約締結状況について | |
| 第2回理事会 平成28年 5月30日 | 6名 /7名 (書面表決0名) | 第1号議案 「代表理事の選任について」 結 果：議長を除く、出席理事5名の賛成により承認 | なし ※ 戸次有一 監事 三浦摂郎 監事 |
| 第3回理事会 平成28年 11月9日 | 7名 /7名 (書面表決1名) | 第1号議案 「平成28年度 本部・施設・介護保険事業 第一次補正予算」(案)について 結 果：議長を除く、出席理事6名(うち書面表決1名)の賛成により承認 第2号議案 「新役員等体制」について 結 果：議長を除く、出席理事6名(うち書面表決1名)の賛成により承認 | なし |
| 第4回理事会 平成28年 12月21日 | 7名 /7名 (書面表決1名) | 第1号議案 「定款変更(案)」について 結 果：議長を除く、出席理事6名(うち書面表決1名)の賛成により承認 第2号議案 「評議員選任・解任委員会運営細則制定(案)」について 結 果：議長を除く、出席理事6名(うち書面表決1名)の賛成により承認 第3号議案 「評議員選任・解任委員の選任(案)」について 結 果：議長を除く、出席理事6名(うち書面表決1名)の賛成により承認 第4号議案 「評議員の推薦(案)」について 結 果：議長を除く、出席理事6名(うち書面表決1名)の賛成により承認 第5号議案 「評議員選任・解任委員会の招集(案)」について 結 果：議長を除く、出席理事6名(うち書面表決1名)の賛成により承認 報告事項 1. 理事長専決事項 ・職員の採用および退職者の報告について 2. 地域貢献事業の実施について | なし ※ 戸次有一 監事 |
| 第5回理事会 平成29年 1月25日 | 7名 /7名 (書面表決1名) | 第1号議案 「監事の選任(案)」について 結 果：議長を除く、出席理事6名(うち書面表決1名)の賛成により承認 第2号議案 「評議員の推薦(案)」について 結 果：議長を除く、出席理事6名(うち書面表決1名)の賛成により承認 報告事項 理事長専決事項 (1) 職員の採用および退職者について (2) 業務委託契約・リース契約について | なし ※ 三浦摂郎 監事 |
| 第6回理事会 平成28年 3月15日 | 7名 /7名 (書面表決0名) | 第1号議案 「平成28年度本部・施設・介護保険事業の第二次補正予算(案)」について 結 果：議長を含む、出席理事7名の賛成により承認 第2号議案 「平成29年度本部・施設・介護保険事業の事業計画(案)」について 結 果：議長を除く、出席理事6名の賛成により承認 第3号議案 「平成29年度本部・施設・介護保険事業の予算(案)」について 結 果：議長を含む、出席理事7名の賛成により承認 報告事項 (1) 理事長専決事項 科目間流用について (2) ひばり園実地指導監査結果について | なし ※ 戸次有一 監事 |

| | | | |
|--|--|---|--|
| | | (3) 預り金等取扱い要領の改正について (4) ひばり園五心会（利用者互助会）会則の制定について (5) ひばり園ヘルパーステーション管理者変更について | |
|--|--|---|--|

(2) 監事監査

- ・平成28年5月11日に、三浦稔郎監事、戸次有一監事により執り行われた
- ・重大な指摘事項はなし

(3) 運営審議会

| 開催年月日 | 出席者数 /定数 | 議案 | 欠席者名 |
|----------------------------|-------------|--|-------|
| 第1回運営審議会 平成28年 5月20日 | 9名 /10名 | 第1号議案 「平成27年度事業報告」について（本部・施設・介護保険事業の各事業） 結果：議長を除く出席委員8名の賛成により承認 第2号議案 「平成27年度決算報告」について（本部・施設・介護保険事業の各事業） 結果：議長を除く出席委員8名の賛成により承認 | 小野久恵 |
| 第2回運営審議会 平成29年 3月10日 | 9名 /10名 | 第1号議案 「平成29年度本部・施設・介護保険事業の事業計画」（案）について 結果：議長を除く、出席委員8名の賛成により承認 第2号議案 「平成29年度本部・施設・介護保険事業の予算」（案）について 結果：議長を除く、出席委員8名の賛成により承認 | 佐々木健一 |

■寄附
なし

■改正社会福祉法への対応

- ・平成29年4月1日施行の定款変更申請を行い承認を受ける
- ・評議員選任・解任委員会を設置し、委員を選任
- ・第1回評議員選任・解任委員会を平成29年1月31日に開催し、評議員を選任
- ・ホームページに新たに「定款」「役員報酬基準」を掲載

■その他社会活動

- ・岩手県立大学社会福祉学部人間福祉学科長 三上邦彦教授より小野猛理事長に対して講師依頼があり、平成29年3月3日（金）に講演を行った
平成28年度岩手県立大学アイーナ相談事業研修会
開場：アイーナいわて県民情報センター7階 岩手県立大学アイーナキャンパス学習室
参加対象：大学教員、大学生、関係機関職員等

《 評 価 》

- 平成28年5月30日付での代表理事の変更があり、定款および関連する法制度に則り、手続きを行った
- 社会福祉法の改正に伴い、主に、定款変更、平成29年度からの評議員会の設置準備にあたった
- 養護老人ホームひばり園が築10年を経過し、多方面に渡って買い替え・修繕を要した。特に、灯油ヒートポンプは室外機3機の内2機について部品劣化による冷媒漏れが発生しており、入替工事の早期検討を要する状況となっている
- そのほか、概ね計画通り実施した

平成28年度 養護老人ホーム万生園 事業報告

1. 基本方針

- (1) 利用者のサービスに関する計画に基づき、社会復帰の促進及び自立のために必要な支援及び訓練その他の援助を行うことにより、利用者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるようにすることを目指す
- (2) 利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ってサービスを行うよう努めなければならない
- (3) 利用者の各ユニットは、明るく家庭的な雰囲気を有し、地域や家族との結びつきを重視した運営を行う
- (4) 社会福祉事業に関する熱意及び能力を有する職員による最適なサービス提供に努める
- (5) 行政機関、福祉施設を含む関係機関と密接な連携に努める
- (6) 介護認定を受けている利用者が最適な介護サービスを受けられるように調整を図る
- (7) 国・県等の関係法及び条例等を順守して、福祉事業を行う

2. 支援方針

- (1) 利用者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように、利用者の心身の状況に応じて、社会復帰の促進及び自立のために必要な支援を適切に行う
- (2) 利用者へのサービス提供は、支援計画に基づき、漫然かつ画一的なものとならないよう配慮して行う
- (3) 職員は、利用者へのサービス提供並びに生活支援の提供に当たっては、懇切丁寧を旨とし、利用者またはその家族に対し、サービス提供上必要な事項について、理解しやすいような説明を行う
- (4) 利用者へのサービス提供に当たっては、当該利用者または他の利用者等の生命または身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束その他利用者の行動を制限する行為を行ってはならない
- (5) 前項の身体拘束等を行う場合には、別に定める規定を遵守しなければならない
- (6) 身体に対する苦痛・言動による精神的な苦痛を与える等の体罰は行ってはならない

3. 事業実施計画

(1) 園内

① 生活支援

- 1) 全職員は、利用者の方がどのようなサービス提供を求めているのかニーズの把握を行い、個別契約型外部介護サービスの利用等最適なサービス提供・生活支援を行う
- 2) 業務の効率化を図り、職員も居住者の一員として対話を重視し、利用者の方と共にやすらぎのある生活づくりを行う
- 3) 機能低下予防のため、個々の状況に応じた介護予防に努める
- 4) 全職員からのサービス・業務の効率化等についての企画・提案書の提出を推進し、評価と褒賞を行う
- 5) 記録業務の充実と簡素化を図る
- 6) 利用者の方が、季節感を感じることができるように、園全体の物品と利用者の私物整理に努める

- ② 各種講座・療法
 - ・生け花講座（毎月第1火曜日）
 - ・書道講座（毎月第1水曜日）
 - ・カラオケ講座（毎月第3木曜日）
 - ・音楽療法（毎月第3火曜日）
- ③ 趣味・レクリエーション
日勤職員が担当、毎週金曜日にホール（集会室）にてレクリエーションを実施

《 評価 》

概ね計画通り実施。火曜日と木曜日の1時間半の時間内で体操・レクリエーションを行った。重介護者の増加によりサービス提供の充実と防犯を目的に17時15分から翌朝8時30分までの間と土日において一階事務室を無人化とした。実施まで1年間体制づくりを行った。

- (2) 園外
 - ① レクリエーションを兼ねた日帰り旅行、地域講座への参加
 - ② 町内会・老人クラブ等活動への参加協力
 - ③ ボランティア活動及び奉仕活動への参加に対する協力推進
 - ④ 利用者の社会的な孤立を防ぐための身元引受人並びに家族、行政機関との連携強化

《 評価 》

高齢にともなう身体的機能の低下が進み、地域活動が困難な状況にある。次年度において②については取りやめとしたい。

- (3) 健康管理・環境管理
健やかな生活を送るために、医師の指示を受け、常に健康状態を把握しながら早期発見、早期対応を図る。また、疾病の予防するための健康相談等の個別支援を図る
 - ① 疾病の再発防止、合併症の予防と早期発見、早期治療
 - ② 週に一回、嘱託医師による内科健康相談
 - ③ 看護師による健康相談、健康管理の個別支援の実施
 - ④ 年2回の健康診断、任意によるインフルエンザ予防接種の実施
 - ⑤ 看護師を感染予防推進者とした感染症対策委員会の開催とノロウイルス等の予防

《 評価 》

概ね計画通り実施。ヘルパーからとデイサービス利用による9名インフルエンザ感染が発生した。石巻管内にインフルエンザ警報が発令され、警報解除までの間デイサービス利用停止と外出の自粛を行った。次年度においては女川医療センターが「発熱外来」を設置することを目安に、対策を講じていく。

- (4) 環境衛生管理
 - ① 清潔保持の為に日常的な定期清掃、年1回の大掃除
 - ② 委託事業者による病害虫、鼠駆除
 - ③ 施設長は職員の中から1名を環境衛生管理者として指名する。環境衛生推進者を主として施設内の環境衛生を推進する

《 評価 》

計画通り実施。

- (5) 警備
 - ① 契約警備会社との連携による防災・警備の強化
 - ② 緊急連絡網体制の強化
 - ③ 緊急業務無線、防犯カメラ、防犯センサー等機械設備の定期点検の実施

④ 職員による建物内外の定時巡回体制の強化

《 評価 》

計画通り実施。防犯の一環として、夕方から翌朝と土日一階事務室の閉鎖を行うためにナースコールの無線化を導入した。突然の来訪者（不審者等）と直接対峙することがなくなり利用者と職員の安全確保を図る。

(6) 給食

- ① 嗜好調査及び残食状況を基にした献立作成
- ② 利用者個人に適した栄養量の確保
- ③ 共に食事に楽しみが感じられ、季節感と湯気のある食事提供
- ④ 限られた食材からのバラエティー豊かな食事提供
- ⑤ 器や盛付け等の食事環境に心を配り、五感で味わうことができる等の工夫した食生活の提供
- ⑥ 行事食等で利用者の方々が自分の好みで選択できる食事の提供
- ⑦ 適温給食の実施
- ⑧ 地場産品等の食材調達を基本とする
- ⑨ 行事等で職員の安全及び衛生管理のもとでの利用者の直接調理の実施
- ⑩ 栄養士を衛生推進者とした給食設備及び機器・備品管理と食中毒等の予防

《 評価 》

計画通り実施。

(7) 事故防止と防災対策の強化

防火管理者が防災対策を推進し、下記項目を実施するとともに利用者の安全と防災意義の啓発と事故防止及び防災対策の強化に努める

- ① 定期的防災訓練の年2回以上を実施
- ② 委託契約した専門業者と合同での各種防災設備の点検と整備
- ③ 関係機関、近隣施設、地域との連携強化
- ④ 事故防止の強化、防火管理者による建物設備及び敷地内定期巡回検査
- ⑤ 専門業者による園内消毒等の実施による食中毒の防止
- ⑥ 防火管理者による防災計画（別紙）の作成
- ⑦ 防災計画に基づいた防災用品の整備
- ⑧ AED、新任職員への救急救命講習の開催
- ⑨ 個人情報保護のため、園内パソコンのパスワード設定による利用制限の実施ならびに職員用ページログイン名・パスワードの定期的な変更

《 評価 》

計画通り実施。

《 設定目標 》

| 部門・担当 | 設 定 目 標 | |
|--------------------------|--|---------------------|
| 看護師 | 利用者の健康管理・病気の早期発見 救命救急講習（救急蘇生法・AEDの使用法）の開催（新採用時） | |
| 生活相談員 | 関係機関（主に措置市町・医療）やご家族との連携による措置変更 支援計画の充実。生活の相談、支援 | |
| 生活支援員 | 個人の尊重を基本に個性が大切にされる生活を送れるように支援する 各居室内整理整頓の支援 | |
| 給食係 | 無事故を基本に笑みがこぼれる食事作り 嗜好調査を基本に思い出の食事を提供 | 残食の精査 |
| リスクマネジメント委員 | 定期的な委員会の開催 事故防止の内部研修 | 8/25・11/28 |
| 身体拘束廃止委員 | 定期的な委員会の開催 高齢者虐待防止の為の研修開催 | 12/6 |
| 感染症対策委員 | 定期的な委員会の開催 マニュアルの見直しと周知徹底 | 4/8・7/27・11/14・3/30 |
| 個人情報保護委員 | 定期的な委員会の開催 全職員への個人情報保護についての啓蒙 | 7/25・11/21・3/28 |
| 栄養アセスメントと嗜好 調査委員・給食委員 | 定期的な委員会の開催 | 6/30・3/29 |
| 総務課 (会計・人事・庶務) | 不安を与えない対応を心がける 利用者・職員本位の業務遂行 | |

《 評 価 》

職員数の不足により業務内容が各職員の負担となり会議の実施が困難になっている。会議を実施するため年間行事計画に日程を盛り込み実施する。

《 総合評価 》

職員の業務内容を検証して利用者本位のサービスの提供の実現を図った。

具体的には居宅介護支援事業所が行うべき業務を相談員が行っており見直しを実施した。そのことにより施設内の機能回復訓練とレクリエーションが実施できるようになった。

夜間帯と土日の事務室待機をなくすことにより安全面と重介護者への対応する時間が大幅に増えた。外部委託している介助員の勤務時間も15時間から8時間とし、過重労働をなくした。

次年度においては「心身ともに健康な職員によるサービスの提供」を基本に事業を行う。

平成28年度 養護老人ホーム万生園 短期入所事業 事業報告

1. 基本方針

- (1) 原則として65歳以上の方であって、疾病その他の理由において、居宅での生活が一時的に困難になった方が、介護保険法で定める短期入所生活介護サービスをやむを得ない事由により利用できない場合に利用していただく
- (2) 県及び市町村が行う、「緊急避難事業」「生活管理指導短期宿泊事業」「レスパイト事業」等の委託を受け、各々の事業の主旨に沿って利用していただく
- (3) 会員制の個別契約によって、「65歳以上で、居宅において介護を受けることが一時的に困難になった方」、「身体介護および介助を必要としない方」、「医行為を必要としない方」、「介護保険のサービスを使える状態にない方」を条件に利用していただく

2. 支援方針

- (1) 利用者の心身の健康保持及び権利・擁護を基本に、利用者個々の有する能力に応じ、自立した日常生活が営めるように支援する
- (2) 利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者のプライバシーの保護に努め、利用者の立場に立ったサービスを提供する
- (3) 地域社会や家庭との結びつきを重視し、利用者が地域社会や家族との接触ができるように支援するとともに、施設の情報を公開する

3. 事業実施計画

市町村との契約は、虐待等の緊急性の高い案件を優先に通年24時間の受け入れを行う

利用状況

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 平均 |
|--------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|------|
| 延べ利用人数 | 1 | 1 | 3 | 1 | 3 | 3 | 2 | 3 | 4 | 4 | 3 | 0 | 2.3 |
| 延べ利用日数 | 30 | 31 | 40 | 9 | 6 | 49 | 28 | 43 | 32 | 39 | 21 | 0 | 27.3 |

《 評価 》

計画通り実施。

平成28年度 万生園ケアプランセンター 事業報告

1. 運営方針

- (1) 地域住民が要介護状態になった場合においても、自立支援を基本として、適切な介護サービスが総合的かつ効率的に提供できるように配慮する
- (2) 常に利用者の立場にたった事業運営に努めるとともに、人権・人格を尊重し、公平中立な姿勢で業務に臨む
- (3) 地域における高齢者福祉の向上のため、行政・関係機関及び他の介護サービス事業者との密接な連携・連絡を図る

2. 事業活動状況

(1) 職員配置（介護支援専門員）

常勤介護支援専門員 1名（管理者と兼務の介護支援専門員の兼務）
 パート介護支援専門員 1名（常勤換算0.2名）

(2) 介護給付費請求

| 提供月 | 請求件数 | 介護給付費（円） |
|-----|---------|-----------|
| 4月 | 32 | 359,210 |
| 5月 | 29 | 320,840 |
| 6月 | 29 | 322,840 |
| 7月 | 29 (1) | 320,840 |
| 8月 | 24 | 267,630 |
| 9月 | 30 (2) | 354,480 |
| 10月 | 27 | 303,110 |
| 11月 | 27 | 305,110 |
| 12月 | 26 | 292,690 |
| 1月 | 27 | 313,220 |
| 2月 | 27 | 314,330 |
| 3月 | 27 | 312,330 |
| 合計 | 334 (3) | 3,786,630 |

※()は、うち月遅れ件数

(3) 介護度別利用者数

平成29年3月末現在（単位：人）

| 介護度 | 要支援1 | 要支援2 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 合計 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|----|
| 利用者数 | 0 | 0 | 6 | 12 | 7 | 2 | 0 | 27 |

(4) 利用者動向

（単位：人）

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 利用者 | 35 | 34 | 33 | 32 | 29 | 28 | 30 | 30 | 29 | 29 | 28 | 28 | 365 |
| 利用開始者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 5 |
| 利用終了者 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 12 |

※利用者数は、各月初めの利用者の数

(5) 利用終了者内訳

| 理由 | 死亡 | 介護保険施設利用 | 入院 | その他 | 合計 |
|----|----|----------|----|-----|-----|
| 人数 | 4名 | 1名 | 0名 | 7名 | 12名 |

(6) 相談件数

| 相談内容 | 件数 | その後の経過 |
|----------------------------|----|---|
| 新規要介護認定申請および介護保険施設利用申込について | 1件 | <ul style="list-style-type: none"> ・万生園より、入院中の利用者様について依頼あり ・新規で要介護認定申請し、認定調査に立会う ・退院後、介護保険施設に移れるよう調整・手続きを行った |
| 万生園利用者様の担当相談 | 3件 | <ul style="list-style-type: none"> ・他事業所ケアマネジャーより、担当を引き受けて欲しいとの依頼があり引き継ぎを受ける |

3. 研修状況

| 日時 | 研修名・内容 | 講師 | 参加者 |
|--|--|--|---------------|
| 平成28年5月19日 15:00~16:30 石巻合同庁舎 5階大会議室 | 平成28年度認知症疾患医療センター研修会 (1) 認知症疾患医療センターの役割・機能 (2) せん妄とBPSD | こだまホスピタル 診療部長 田中 康裕氏 | 色川美保子 |
| 平成28年5月31日 13:30~15:30 鹿妻コミュニケーションセンター | 平成28年度石巻市圏域ケアマネジャー説明会 (1) 認知症アセスメントDASC-21について ・説明と模擬試行 (2) 事務連絡 ・グループ及び関係課から | 石巻市健康部介護保険課 地域支援グループ 大須氏 | 色川美保子 |
| 平成28年6月22日 13:15~16:15 仙台市泉文化創造センター (イズミティ21) 大ホール | 介護サービスの質の向上に関する市町村担当者、事業所管理者等研修会 「介護事業所のリスクマネジメント」～介護事故裁判例から学ぶ介護サービスの質～ | 東北福祉大学総合福祉学科 准教授 菅原 好秀氏 | 色川美保子 |
| 平成28年7月29日 13:30~16:00 宮城県石巻合同庁舎 5階大会議室 | 平成28年度指定介護保険サービス事業者等集団指導について | 宮城県地域保健福祉部 成人・高齢班 村上 勝利氏 | 色川美保子 工藤真弓 |
| 平成28年9月9日 18:00~19:30 イオンシネマ石巻 | 第1回宮城県認知症疾患医療センター講演会 | 慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室 教授 三村 将氏 | 色川美保子 工藤真弓 |
| 平成28年9月29日 13:30~15:00 石巻市社会福祉協議会 復興支援課 2階会議室 | 平成28年度湊・渡波・牡鹿地区圏域包括ケア会議 「居宅介護支援事業所及び介護サービス事業所等に対して利用者・家族からの支援に関するクレーム（民事訴訟等）に対する心構えと対応について」 | いしのまぎ法律事務所 弁護士 前田 拓馬氏 | 色川美保子 工藤真弓 |
| 平成28年9月29日 16:00~17:30 石巻市立病院 | 石巻市立病院見学会 「医療連携、訪問診療について」 | 石巻市立病院 医療連携担当職員3名他 | 色川美保子 工藤真弓 |
| 平成28年11月2日 18:30~20:30 宮城県石巻合同庁舎 5階大会議室 | 平成28年度石巻圏域リハビリ専門職による在宅支援の会多職種合同研修会 「『生きがいのある暮らし』につなぐ～事例から学ぶアセスメントの共有と自立に向けた目標設定～」 | 医療法人社団東北福祉会 介護老人保健施設 せんだんの丘 支援相談員 三浦 晃氏 | 工藤真弓 |

| | | | |
|--|--|--|---------------|
| 平成28年12月22日 15:00~17:00 宮城県石巻合同庁舎別棟 101・102・103 | 難病患者支援者研修会 (1) 行政説明 (2) 活動報告 (3) 体験談 | 疾病・感染症対策室 難病対策 班 室長補佐(班長)佐久間 正 則氏 石巻市社協介護NPOセクター河南 桃生 小野 美恵子氏 | 色川美保子 |
| 平成29年1月22日 9:30~16:30 東北福祉大学仙台駅 東口キャンパス | 平成28年度 アセスメント研修会 | 宮城県ケアマネジメント協会 小湊 純一氏 | 色川美保子 |
| 平成29年2月14日 14:00~16:00 宮城県石巻合同庁舎 5階大会議室 | 平成28年度高次脳機能障害者支援事業石 巻圏域研修会 「高次脳機能障害者の診断から治療、 地域との連携について」 | 宮城県リハビリテーション支 援センター職員 東北医科薬科大学病院 高次脳機能障害支援セク トール副センター長 リハビリテーション科医師 菊池 大一氏 | 色川美保子 工藤真弓 |
| 平成29年3月1日 13:30~15:30 宮城県石巻合同庁舎 5階大会議室 | 平成28年度自死予防対策研修会 「自死を訴える対象者への支援につい て」 | 宮城県精神保健福祉協会 みやぎ心のケアセンター 副センター長 山崎 剛氏 | 色川美保子 |
| 平成29年3月22日 13:30~16:30 石巻市遊楽館 大会議室 | 自立支援型ケアマネジメント圏域別セ ミナー 「地域包括ケア体制構築に向けた多職 種連携の推進について」 「自立支援のためのアセスメントの基 本視点と目標設定の考え方」 | 宮城県保健福祉部長寿社会政 策課 地域包括ケア推進班 三浦 禎氏 介護老人保健施設せんだんの丘 相談員 三浦 晃氏 | 色川美保子 工藤真弓 |

《評価》

事業計画通り、事業活動を遂行できた

- 事業収支の安定化について
ケアマネジャーの人数や勤務時間体制に変更があり、1名常勤、1名非常勤（常勤換算0.2名：平成29年3月現在）で受け持ちできる人数が減少された事に伴い、前年度より、事業収入も減少となった。現在、若干の空き人数が生じているが、万生園での緊急的なサービス利用時にも対応できる体制づくりに徹した
- 安全管理について
万生園での防災訓練にも参加させて頂き、交通安全・健康管理等の安全管理に留意し、業務の遂行にあたる事ができた
- 研修の確保について
アセスメント研修等の基礎的な研修をはじめ、多種多様な分野の研修に参加する事で、資質向上を図る事ができた

平成28年度 万生園ヘルパーステーション 事業報告

1. 運営方針

- (1) 事業所の訪問介護員等は地域住民が要介護状態、要支援状態になった場合においても、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように配慮して、身体介護その他生活全般にわたる援助を行う。
- (2) 利用者の人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービスを提供する。
- (3) 地域福祉の向上のため、市町村、居宅介護支援事業者、他の居宅サービス事業者及びその他保健・医療機関と密接に連携を図り、総合的なサービスの提供に努める。

2. 事業活動状況

(1) 職員配置（平成29年3月31日現在）

9名

統括責任者1名、管理者（兼務）1名、サービス提供責任者2名、訪問介護員6名

(2) 収入および稼働状況

| 提供月 | 収入（円） | 稼働人員（人） | 稼働時間（時間） | 稼働率（％） |
|-----|------------|---------|----------|---------|
| 4月 | 3,182,310 | 116 | 693 | 79.6 |
| 5月 | 3,025,610 | 133 | 664 | 66.5 |
| 6月 | 2,882,090 | 127 | 675 | 70.8 |
| 7月 | 3,467,349 | 121 | 708 | 78.0 |
| 8月 | 3,127,080 | 133 | 719 | 72.0 |
| 9月 | 3,237,310 | 121 | 695 | 76.5 |
| 10月 | 3,348,610 | 127 | 743 | 78.0 |
| 11月 | 3,293,752 | 149 | 726 | 64.9 |
| 12月 | 3,427,160 | 142 | 740 | 69.4 |
| 1月 | 3,510,458 | 149 | 760 | 68.0 |
| 2月 | 3,214,480 | 116 | 676 | 77.7 |
| 3月 | 3,522,200 | 133 | 741 | 74.2 |
| 合計 | 39,238,409 | 1,567 | 8,540 | 平均 72.6 |
| 前年度 | 46,744,220 | 1,666 | 9,895 | 平均 79.1 |

※稼働率＝稼働時間÷（稼働人員×実働可能時間 7.5時間）×100、小数点第二位以下切り捨て

(3) 介護度別利用者数

（単位：人）

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 訪問型サービス | 3 | 3 | 3 | 4 | 4 | 4 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 予防訪問 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 4 | 4 | 4 | 4 | 1 | 1 |
| 要介護1 | 11 | 10 | 10 | 10 | 7 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 4 | 4 |
| 要介護2 | 9 | 8 | 8 | 8 | 11 | 13 | 11 | 13 | 12 | 12 | 12 | 12 |
| 要介護3 | 6 | 6 | 5 | 4 | 4 | 4 | 5 | 4 | 4 | 5 | 6 | 6 |
| 要介護4 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 要介護5 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 |
| 合計 | 31 | 29 | 29 | 30 | 30 | 30 | 29 | 30 | 29 | 30 | 27 | 28 |
| 前年度 | 37 | 37 | 35 | 37 | 36 | 36 | 38 | 36 | 37 | 36 | 35 | 35 |

3. 研修状況

(1) 外部研修

| 日 時 | 研修名・内容 | 講 師 | 参加者 |
|-------------|--|--------------------------------------|---------------|
| 平成28年 6月27日 | プロの対話技術を学ぶ 「ケア従事者のための対人学シリーズ」 | NPO日本ケア・カウン セリング協会 品川博二氏 | 津田ひろ子 今野里子 |
| 平成28年 8月29日 | プロの対話技術を学ぶ 「ケア従事者のための対人学シリーズ」 | NPO日本ケア・カウン セリング協会 品川博二氏 | 阿部千恵子 平塚淳子 |
| 平成28年 9月29日 | 「利用者・家族からの支援に関する クレーム(民事訴訟)に対する心が まえと対応について」 | 石巻法律事務所 弁護士 前田拓馬氏 | 下山千賀子 阿部照子 |
| 平成28年10月20日 | 宮城県介護研修センター研修 「計画作成担当者研修のスキルア ップを目指して」 | 小規模多機能型居宅介護 シンフォニー将監 管理者 井上博文氏 | 津田ひろ子 |
| 平成28年11月 3日 | 宮城県介護福祉会研修 介護技術の基本 「起居動作・移動・移乗の基本動作 の習得」 | 宮城県介護福祉会 副会長 佐藤和幸氏 | 今野里子 |
| 平成28年11月 9日 | 宮城県介護福祉会研修 「支援別介護技術 食事の支援と口腔ケア」 | 宮城県介護福祉会 副会長 佐藤和幸氏 | 早坂正一 |
| 平成28年11月16日 | 宮城県介護福祉会研修 「支援別介護技術 清拭・部分浴・排せつ・整容」 | 宮城県介護福祉会 栗石理枝氏 | 阿部千恵子 |
| 平成28年11月23日 | 宮城県介護福祉会研修 「認知症ケアの実際」 | 宮城県介護福祉会 中野栄子氏 | 高橋祥子 |

(2) 内部研修

| 日 時 | 研修名・内容 | 講 師 | 参加者 |
|-------------|--------------|-------|--|
| 平成28年 4月18日 | 倫理及び法令遵守について | 下山千賀子 | 阿部照子 阿部千恵子 津田ひろ子 阿部恵子 高橋祥子 今野里子 |
| 平成28年 5月12日 | ホームヘルパーの仕事 | 阿部照子 | 下山千賀子 阿部千恵子 津田ひろ子 阿部恵子 平塚淳子 今野里子 |
| 平成28年 7月 5日 | 介護技術研修「清拭」 | 阿部照子 | 下山千賀子 阿部千恵子 平塚淳子 高橋祥子 阿部恵子 今野里子 |
| 平成28年 9月16日 | 感染予防対策について | 阿部照子 | 下山千賀子 阿部千恵子 平塚淳子 津田ひろ子 阿 部恵子 高橋祥子 今野 里子 |
| 平成28年12月14日 | 外部研修の復命・発表 | | 下山千賀子 阿部照子 安倍 千恵子 阿部恵子 高橋祥子 早坂正一 今野里子 |
| 平成29年 1月24日 | 介護技術研修「移乗介助」 | 阿部照子 | 下山千賀子 津田ひろ子 阿 部恵子 高橋祥子 早坂 正一 今野里子 |

| | | | | |
|-------------|-------------|------|------------------------|-----------------------|
| 平成29年 2月29日 | 腰痛予防 | 阿部照子 | 下山千賀子 津田ひろ子 今野里子 | 阿部恵子 高橋祥子 |
| 平成29年 3月28日 | 認知症の中核症状とケア | 阿部照子 | 下山千賀子 津田ひろ子 阿部恵子 | 阿部千恵子 平塚淳子 早坂正一 |

《評価》

- 訪問介護員の資質の向上に向けた研修を行う成果が、コミュニケーション力につながり利用者の心のケアを担っていると評価する
- 常勤換算ヘルパー6.5人、サービス収入の平均値1人当月額約50万円、提供時間月110時間、平均稼働率73%という実績は良好、組織的にも貢献度大と評価する

平成28年度 養護老人ホームひばり園 事業報告

1. 基本方針

- (1) 利用者のサービスに関する計画に基づき、社会復帰の促進及び自立のために必要な支援及び訓練その他の援助を行う事により、利用者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるようにすることを目指す
- (2) 利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ってサービスを行うよう努めなければならない
- (3) 利用者の各ユニットは、明るく家庭的な雰囲気有し、地域や家族との結びつきを重視した運営を行う
- (4) 社会福祉事業に関する熱意及び能力を有する職員による最適なサービス提供に努める
- (5) 行政機関、福祉施設を含む関係機関と密接な連携に努める
- (6) 介護認定を受けている利用者が最適な介護サービスを受けられるように調整を図る
- (7) 国・県等の関係法及び条例等を順守して、福祉事業を行う

2. 支援方針

- (1) 利用者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように、利用者の心身の状況に応じて、社会復帰の促進及び自立のために必要な支援を適切に行う
- (2) 利用者へのサービス提供は、支援計画に基づき、漫然かつ画一的なものとならないよう配慮して行う
- (3) 職員は、利用者へのサービス提供並びに生活支援の提供に当たっては、懇切丁寧を旨とし、利用者またはその家族に対し、サービス提供上必要な事項について、理解しやすいような説明を行う
- (4) 利用者へのサービス提供に当たっては、当該利用者または他の利用者等の生命または身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束その他利用者の行動を制限する行為を行ってはならない
- (5) 前項の身体拘束等を行う場合には、別に定める規定を遵守しなければならない
- (6) 身体に対する苦痛・言動による精神的な苦痛を与える等の体罰は行ってはならない

3. 事業実施計画

- (1) 園 内
 - ① 生活支援
 - 1) 全職員は、利用者の方がどのようなサービス提供を求めているのかニーズの把握を行い、個別契約型外部介護サービスの利用等最適なサービス提供・生活支援を行う
 - 2) 業務の効率化を図り、職員も居住者の一員として対話を重視し、利用者の方と共にやすらぎのある生活づくりを行う
 - 3) 機能低下予防のため、個々の状況に応じた介護予防に努める
 - 4) 全職員からのサービス・業務の効率化等についての企画・提案書の提出を推進し、評価と褒賞を行う
 - 5) 記録業務の充実と簡素化を図る
 - 6) 利用者の方が、季節感を感じることができるように、園全体の物品と利用者の私物整理に努める
 - ② 各種教室
 - ・民謡教室 ・手芸教室 ・囲碁将棋教室 ・カラオケ教室 (各、月2回)

・地域老人クラブ（月1回）

《 評価 》

カラオケ教室については、引き続き好評で、カラオケをしない方も参加され楽しまれている。

地域老人クラブについては、身体的に参加することが難しくなっている方が増えてしまったが、今年度については、2名の方が継続して参加された。次年度も参加を希望されている。

(2) 園 外

- ① レクリエーションを兼ねた日帰り旅行、地域講座への参加
- ② 町内会・老人クラブ等活動への参加協力
- ③ ボランティア活動及び奉仕活動への参加に対する協力を推進する
- ④ 利用者の社会的な孤立を防ぐため、身元引受人や家族、行政機関との連携強化

《 評価 》

日帰り旅行については、春と秋の2回実施できた。特に秋の日帰り旅行については、車椅子対応の公用車を1台購入したことにより、車椅子の方を旅行にお連れすることができた

(3) 健康・環境管理

健やかな生活を送るために、医師の指示を受け、常に健康状態を把握しながら早期発見、早期対応を図る。また、疾病の予防するための健康相談等の個別支援を図る

- ① 疾病の再発防止、合併症の予防と早期発見、早期治療
- ② 月1回以上、嘱託医師による内科健康相談
- ③ 看護師による健康相談、健康管理の個別支援の実施
- ④ 年2回健康診断、任意によるインフルエンザ予防接種及び肺炎球菌ワクチンの予防接種の適宜実施
- ⑤ 委託事業者による病害虫、鼠駆除
- ⑥ 感染症対策
- ⑦ 職員の健康管理 職員の健康保持、増進のため「労働安全規則第44条」に基づき次のとおり、健康診断を行う

《 評価 》

おおむね予定通り実施された

(4) 給 食

- ① 嗜好調査及び残食状況を基に献立を作成し、利用者個人に適した栄養量の確保と共に食事に楽しみが感じられ、季節感と湯気のある食事を提供する
- ② 限られた食材からバラエティー豊かな食事を提供し、器や盛り付け等の食事環境に心を配り、五感で味わうことができる等の工夫した食生活を提供する
- ③ 利用者の方々が自分の好みで選択できる食事を提供する
- ④ 適温給食の実施
- ⑤ 地場産品等の食材調達を実施
- ⑥ 職員の安全及び衛生管理のもとで、利用者の方々が直接調理できる機会をもっといただく

《 評価 》

おおむね予定通り実施された

(5) 事故防止と防災対策の強化

利用者の安全と防災意義の啓発と事故防止及び防災対策の強化に努める

- ① 定期的防災訓練の年2回実施（内1回は消防署立会いによる総合防災訓練）
- ② 委託契約による専門業者との合同で、各種防災設備の点検と整備

- ③ 関係機関、近隣施設、地域との連携強化（防災協力員との合同訓練の実施）
- ④ 事故防止の強化、防火管理者による建物設備及び敷地内定期巡回検査
- ⑤ 専門業者による園内消毒等の実施による食中毒の防止
- ⑥ 防災用品の整備
- ⑦ 防災計画

防災計画は別に定める

※ 消防設備等の操作方法、設置場所の把握、非常口・避難路の障害物の除去、利用者同士の相互協力

《 評価 》

おおむね予定通り実施された

(6) 運営方針

- ・法人「理念」、「基本方針」に沿い、施設が一体となって、職種間・職員間の連携を取る
- ・職員一人ひとりが自分の業務を常に見直す姿勢とチェック機能の充実を図る

《 設定目標 》

| 部門・担当 | 設定目標 | | |
|-------------------|---|--------------|------------|
| 看護師 | 利用者の健康管理・病気の早期発見 救命救急講習（救急蘇生法・AEDの使用法）の開催（年1回） | | |
| 生活相談員 | 関係機関（主に措置市町村）やご家族との連携 支援計画の充実 社会復帰への相談、支援 | | |
| 生活支援員 | 利用者お一人お一人が、快適で潤いのある生活を送れるように支援する 各居室内整理整頓の支援 | | |
| 給食係 | 安全・安心な食事作り 嗜好調査を充実し、利用者の嗜好にあった食事を提供し、残食を減らす | | |
| リスクマネジメント委員 | 定期的な委員会の開催 事故防止の内部研修 | 5/30 | 9/16 12/6 |
| 身体拘束廃止委員 | 定期的な委員会の開催 高齢者虐待防止の為に研修開催 | 9/5 | 11/29 3/29 |
| 感染症対策委員 | 定期的な委員会の開催 マニュアルの見直しと周知徹底 | 4/18 1/16 | 7/19 10/17 |
| 個人情報保護委員 | 定期的な委員会の開催 全職員への個人情報保護についての啓蒙 | 6/27 | 2/22 |
| 総務課 (会計・人事・庶務) | 正確、確実、早急な対応を心がける 利用者・職員の立場にたった業務をする | | |

《 評価 》

救命救急講習について、日程が設定できず、研修の機会を設けることができなかった。今後は、このようなことの無い様にする

《 総合評価 》

- 平成28年度においては、概ね予定通りに事業が行われた
- 利用者様は、定員に満たない状況ではあるが、高齢化、介護状態の重度化、医療依存度の増加、支援内容の多様化等により、業務内容の遂行が困難な状況となっている
- 利用者様へのサービス提供の質の確保と職員の過重負担とならないように配慮した為、外部研修の参加を控えざるを得なかった
- 比較的自立度の高い利用者様やご自分の意思を伝えることのできる利用者様、課題を多く抱える利用者様に係る時間が増加してきている。一方でご自分では移動することもままならない利用者様やご自分の意思を伝えることが困難な利用者様への支援を重要視し、利用者様皆様が安心して毎日の生活を送れるようにと職員一丸となってかかわるようにしてきた
- 新規利用となる方は、これまで以上に多くの課題を抱え、専門的なかかわりを必要としている方である。また、ひばり園利用後に「養護老人ホームの対象ではない状態」となられても、即利用終了となることが困難であることも多く、措置市町村はもちろん各関係機関との信頼関係に基づいた調整力の強化を図る重要性を痛感する

平成28年度 ひばり園短期入所事業 事業報告

1. 基本方針

- (1) 原則として65歳以上の方であって、疾病その他の理由において、居宅での生活が一時的に困難になった方が、介護保険法で定める短期入所生活介護サービスをやむを得ない事由により利用できない場合に利用していただく
- (2) 市町村が行う、「緊急避難事業」「生活管理指導短期宿泊事業」「レスパイト事業」等の委託を受け、各々の事業の主旨に沿って利用していただく
- (3) 会員制の個別契約によって、「65歳以上で、居宅において介護を受けることが一時的に困難になった方」、「身体介護および介助を必要としない方」、「医療行為を必要としない方」、「介護保険のサービスを使える状態にない方」を条件に利用していただく

2. 支援方針

- (1) 利用者の心身の健康保持及び権利・擁護を基本に、利用者個々の有する能力に応じ、自立した日常生活が営めるように支援する
- (2) 利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者のプライバシーの保護に努め、利用者の立場に立ったサービスを提供する
- (3) 地域社会や家庭との結びつきを重視し、利用者が地域社会や家族との接触ができるように支援するとともに、施設の情報を公開する

3. 事業実施計画

- (1) 市町村との契約は、積極的に周辺市町村担当職員の説明の機会を設け、ひばり園の短期入所事業について、周知を図る
入院先からの利用の場合には、措置機関および家族に必ず付き添っていただく
- (2) 個別契約（会員制）
 - ①重要事項説明書の活用及び中長期的な利用となっている方との契約書の取り交わしを実施する
 - ②ホームページでの情報公開をはじめとして、主に美里町の住民の方々にサービスの存在を知って頂く

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 | 平均 |
|------------|-----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|------|
| 延べ 利用人数 | 委託 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 | 1 | 0 | 1 | 6 | 0.5 |
| | 会員制 | 1 | 1 | 0 | 2 | 1 | 3 | 1 | 1 | 2 | 2 | 4 | 3 | 21 | 1.76 |
| 延べ 利用日数 | 委託 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 36 | 22 | 0 | 5 | 64 | 5.33 |
| | 会員制 | 3 | 31 | 0 | 50 | 6 | 4 | 7 | 9 | 21 | 16 | 48 | 50 | 200 | 16.7 |

利用状況 ※H28年度の情報

《評価》

利用者がお一人もいらっしやらないという月もあったが、年度後半には、市町村からの依頼、会員制での利用者ともに常時利用される方がいらっしやる状況である

平成28年度 ひばり園ケアプランセンター 事業報告

1. 運営方針

- (1) 地域住民が要介護状態になった場合においても、自立支援を基本として、適切な介護サービスが総合的かつ効率的に提供できるように配慮する。
- (2) 常に利用者の立場にたった事業運営に努めるとともに、人権・人格を尊重し、公平中立な姿勢で業務に臨む。
- (3) 地域における高齢者福祉の向上のため、行政・関係機関及び他の介護サービス事業者との密接な連携・連絡を保持する。

2. 事業活動状況

(1) 職員配置

常勤1名（管理者と介護支援専門員の兼務）

(2) 介護給付費・介護予防支援業務委託料請求 ※()は、月遅れ件数

| 提供月 | 請求件数 | 介護給付費(円) | 介護予防件数 | 介護予防支援業務委託料(円) | 合計(円) |
|-----|--------|-----------|--------|----------------|-----------|
| 4月 | 23(1) | 294,400 | 9 | 41,700 | 336,100 |
| 5月 | 25(1) | 326,460 | 9 | 41,700 | 368,160 |
| 6月 | 26 | 317,460 | 11 | 53,300 | 370,760 |
| 7月 | 26(1) | 335,990 | 11 | 47,300 | 383,290 |
| 8月 | 25 | 302,930 | 11 | 47,300 | 350,230 |
| 9月 | 28(2) | 364,030 | 10 | 43,000 | 407,030 |
| 10月 | 27 | 332,880 | 10 | 43,000 | 375,880 |
| 11月 | 26 | 311,350 | 9 | 38,700 | 350,050 |
| 12月 | 27(3) | 367,250 | 9 | 38,700 | 405,950 |
| 1月 | 30(1) | 381,890 | 9 | 38,700 | 420,590 |
| 2月 | 29 | 351,830 | 8 | 34,400 | 386,230 |
| 3月 | 29 | 364,050 | 8 | 34,400 | 398,450 |
| 合計 | 321(9) | 4,050,520 | 114 | 502,200 | 4,552,720 |

※介護保険収入の合計額としては、仙台市太白区から委託を受けた認定調査業務委託料4,320円を含めた4,557,040円となる

(3) 介護度別利用者数

平成29年3月末現在(単位：人)

| 介護度 | 要支援1 | 要支援2 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 合計 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|--------|
| 利用者数 | 5(5) | 3(3) | 9(5) | 3(0) | 8(3) | 5(2) | 4(3) | 37(21) |

※()内は、ひばり園以外の利用者数

(4) 利用者動向

(単位：人)

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 利用者 | 36 | 37 | 37 | 38 | 39 | 38 | 38 | 38 | 38 | 38 | 37 | 37 | 451 |
| 利用開始者 | 2 | 1 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 9 |
| 利用終了者 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 8 |

※利用者数は、各月初めの利用者の数

(5) 利用終了者内訳

| 理由 | 死亡 | 介護保険施設利用 | 入院 | その他 | 合計 |
|----|----|----------|----|-----|----|
| 人数 | 2名 | 2名 | 3名 | 0名 | 7名 |

(6) 認定調査業務委託

1件（平成28年3月／仙台市太白区）

※委託料については平成28年6月請求済み

(7) 相談件数

| 相談内容 | 件数 | その後の経過 |
|-----------------------------------|----|---|
| 養護老人ホームひばり園利用希望の相談 | 1件 | <ul style="list-style-type: none"> ・スキップケアプランセンター（田尻）より勧められ来所 ・要介護4で精神科入院中。退院の話があり本人の年金額が少ないため相談に来られた ・収入のある家族と同居していたため、特養施設の紹介を行った |
| ケアマネ担当依頼 | 2件 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方よりケアマネ担当依頼を受ける ・利用者数に空きがない事を説明し他の居宅介護支援事業を紹介した |
| 美里町健康福祉課 包括支援センターへ 当事業所より相談 | 1件 | <ul style="list-style-type: none"> ・家族と同居だが自宅内別居生活の方。食事作りから排泄まで1室で行っている。室内は煩雑化し悪臭がある ・同居家族は現状維持でも構わない意向であったが、今後自宅での生活は困難と判断し、同居家族・娘さん・地域包括支援センター職員と話し合いを行い施設利用の方向でまとまった |

3. 研修状況

| 日時 | 研修名・内容 | 主催・講師 | 参加者 |
|---|--|--|-------|
| 平成28年5月17日 13:30~14:30 美里町健康福祉センター 1 階研修室 | 平成28年度【第1回】 美里町主任管理者会議 「地域の中での関係づくり～ 民生委員さん区長さんとの連携 ～」 | 美里町健康福祉課 美里町地域包括支援センター 管理者兼保健師 相原 浩子氏 介護支援専門員高橋ひろみ氏 | 丸山 典子 |
| 平成28年8月17日 13:30~14:30 美里町健康福祉センター 1 階研修室 | 平成28年度【第2回】 美里町主任管理者会議 「入院時における医療との連携 について」 | 美里町健康福祉課 美里町地域包括支援センター 管理者兼保健師 相原 浩子氏 介護支援専門員高橋ひろみ氏 | 丸山 典子 |
| 平成28年11月9日 13:30~14:30 美里町健康福祉センター 1 階研修室 | 平成28年度【第3回】 美里町主任管理者会議 「平成28年度美里町ケアプラン 点検事業実施報告」 | 美里町健康福祉課 美里町地域包括支援センター 管理者兼保健師 相原 浩子氏 介護支援専門員高橋ひろみ氏 | 丸山 典子 |
| 平成29年2月21日 13:30~14:30 美里町健康福祉センター 1 階研修室 | 平成28年度【第4回】 美里町主任管理者会議 「ケアマネジメントの課題の 対応について」 | 美里町健康福祉課 美里町地域包括支援センター 管理者兼保健師 相原 浩子氏 介護支援専門員高橋ひろみ氏 | 丸山 典子 |
| 平成28年4月26日 15:00~16:30 美里町健康福祉センター 1階研修室 大広間 | 平成28年度【第1回】 介護サービス事業所連絡会 「H28年度美里町介護保険事 業・高齢福祉事業・包括支援 センター事業の事務事業説明」 | 美里町健康福祉課 介護保険係 係長 野田氏 美里町地域包括支援センター 管理者兼保健師 相原 浩子氏 | 丸山 典子 |
| 平成28年6月21日 15:00~16:30 美里町健康福祉センター 1階研修室 大広間 | 平成28年度【第2回】 介護サービス事業所連絡会 「美里町の総合事業について 現時点での美里町総合事業実施 の方向性についての説明」 | 美里町健康福祉課 美里町地域包括支援センター 管理者兼保健師 相原 浩子氏 介護支援専門員高橋ひろみ氏 | 丸山 典子 |

| | | | |
|---|---|---|-------|
| 平成28年11月8日 13:30~15:00 美里町駅東地域交流センター 多目的ホール | 平成28年度美里町多職種連携研修会 ・講和 「認知症疾患の理解と治療」 ・グループワーク 「認知症の方の対応で困ること工夫していること」 | 美里町健康福祉課 美里町地域包括支援センター 管理者兼保健師 相原 浩子氏 介護支援専門員高橋ひろみ氏 講師 医師 佐藤 宗一郎氏 | 丸山 典子 |
| 平成28年1月16日 18:00~19:00 美里町駅東地域交流センター 多目的ホール | 美里町介護予防・日常生活支援総合事業に係る介護サービス事業所等説明会 ・介護予防・日常生活支援総合事業について | 美里町健康福祉課 課長補佐 佐々木さとみ氏 介護保険係 係長 野田氏 美里町地域包括支援センター 管理者兼保健師 相原 浩子氏 | 丸山 典子 |
| 平成29年3月29日 13:30~14:30 美里町健康福祉センター 2階 研修室 | 平成28年度美里町認知症初期集中支援チーム検討委員会 ・美里町認知症初期集中支援推進事業概要説明 ・今年度相談者の経過報告 ・認知症支援における課題について | 美里町健康福祉課 美里町地域包括支援センター 管理者兼保健師 相原 浩子氏 社会福祉士 横山太一氏 | 丸山 典子 |
| 平成28年6月22日 13:00~16:00 仙台市泉文化創造センター イズミティ21 大ホール | 介護サービスの質の向上に関する市町村担当者・事業所管理者等研修会 「介護事業所のリスクマネジメント～介護事故裁判例から学ぶ介護サービスの質～」 | 主催：宮城県健康保険団体連合会 東北福祉大学総合福祉学部 准教授 菅原 好秀氏 | 丸山 典子 |
| 平成28年8月23日 14:00~16:00 涌谷町町民医療福祉センター 研修ホール | 平成28年度【第1回】 涌谷町地域ケア会議 ・地域包括ケアシステムについて ・涌谷町地域ケア会議要綱について | 涌谷町町民医療福祉センター 福祉課 包括支援班 佐々木氏・中野目氏 センター長 青沼 孝徳氏 福祉課長 牛渡 俊元氏 | 丸山 典子 |
| 平成28年11月20日 14:00~16:00 涌谷町町民医療福祉センター 研修ホール | 第1回涌谷町介護予防・日常生活支援総合事業介護事業所説明会 ・総合事業の概要(包括支援班) ・請求業務(国保介護班) ・事業所指定関係(福祉班) | 涌谷町町民医療福祉センター 福祉課 包括支援班 工藤氏・藤島氏 | 丸山 典子 |
| 平成29年3月7日 13:30~15:30 宮城県大崎合同庁舎 1階 大会議室 | 平成28年度北部圏域地域包括ケア地域課題解決研修会 「認知症の方を支える地域づくり」 | 宮城県北部福祉事務所 高齢者支援班 東海林氏・佐藤氏 講師 平 みき氏 | 丸山 典子 |
| 平成28年12月9日 13:30~15:30 美里町青生コミュニティセンター | ケアマネジャー多職種連携支援体制強化事業 「虐待対応～多機関、多職種の立場から考える」 | 宮城県ケアマネジャー協会大崎市 部支部長 吉村 英晃氏 講師 小湊 純一氏 | 丸山 典子 |

自己研修

| 日時 | 研修内容 | 講師 |
|--|--|--|
| 平成28年5月28日(土) 14:00~16:30 宮城県建設産業会館 | 宮城県ケアマネジャー協会 「虐待のない「みやぎ」をめざして」 | 宮城県ケアマネジャー協会 会長 三上 雅嗣氏 講師 小湊 純一氏 |
| 平成29年1月29日 9:00~16:00 宮城県大崎合同庁舎 大会議室 | 宮城県ケアマネジャー協会 平成28年度 アセスメント研修会 | 宮城県ケアマネジャー協会事務局 講師 小湊 純一氏 |
| 平成28年7月21日 17:30~18:30 涌谷町町民医療福祉センター 研修ホール | 介護・医療連携における介護報酬説明会 ・診療報酬について ・連携にかかる診療報酬改定 ・診療報酬と介護報酬 ・地域ケア病床について | 涌谷町国保病院地域医療連携室 わくやケアマネワーキング 担当 アシストわくや 佐々木氏 |
| 平成28年8月26日 17:30~19:30 涌谷町町民医療福祉センター 研修ホール | 涌谷町における地域包括ケアへの 取り組み説明会 ・地域ケア病床、地域包括ケアシステム への取り組み ・外来、入院患者の動向。地域ケア病床 の現状 ・涌谷町訪問看護ステーションの 役割 | 宮城県ケアマネジャー協会 秋田県横手市大森病院 院長 小野 剛氏 地域医療連携室 新田 仁美氏 涌谷訪問看護ステーション 管理者 鈴木 義子氏 |
| 平成28年12月16日 18:30~20:30 宮城県大崎合同庁舎大会議 室 | 平成28年度認知症対応力向上研修 会 「認知症原因疾患別の特徴と行動 一心理行動(BPSD)への対応 認知 症疾患医療センターの役割」 | 宮城県北部保健福祉事務所 認知症疾患医療センター・研修仙台センター 副センター長兼研修・研究部長 阿部 哲也氏 旭山病院 相談員 佐藤 智美氏 こころのホスピタル・古川グリーンヒルズ 相談員 小野 春佳氏 |
| 平成29年3月4日(土) 9:00~17:00 ハーネル仙台 | 地域における認知症対応実践 講座 ・サインを見逃さないために ・認知症の理解 ・認知症の鑑別 ・薬物療法とインフォームド コンセント ・利用者本位のケアを考える ・地域ケアカンファレンスの実践 | 一般社団法人日本認知症ケア学会 東京都健康長寿医療センター 研究部長 栗田 圭一氏 |
| 平成28年7月29日 18:30~20:30 美里町駅東地域交流センター 2F 大会議室 | 第25回 MSC-Net みさとスマイルケアネットワーク 「高齢者に多い皮膚疾患」 | MSC-Net 事務局 佐々木義夫氏 マルホ株式会社仙台支店 ファーマシー事業部 医療情報担当者チーフ 篠崎 恵美子氏 |
| 平成28年9月29日 18: 30~20:30 美里町駅東地域交流センター 2F 大会議室 | 第27回 MSC-Net みさとスマイルケアネットワーク 「接遇マナー研修」 | MSC-Net 事務局 佐々木義夫氏 キャリアトーク代表 志伯 暁子氏 |
| 平成28年10月27日 18:30~20:30 みさとスマイルネットワー ク事務所 | 第28回 MSC-Net みさとスマイルケアネットワーク 重曹を使ったやわらか食調理実習 と飲み込む力の違いを体験しよう | MSC-Net 事務局 佐々木義夫氏 特養楽々楽館 熱海圭子氏 特養いなほ 渡邊美貴氏 永仁会病院 重巣綾香氏 NPO 法人ハッピー大崎 小関良子氏 老健庭の里 後藤優子氏 |

《評価》

- 事業計画通り実施できた
- 居宅支援件数 37 名～39 名（要支援者 8～11 名含む）を確保できた
- 予防委託においては困難事例を含めた依頼があり、利用者様の安全確保のため美里町健康福祉課包括支援センターと連携しサービスの提供を行なう事ができた
- 美里町認知症対策推進の為に「美里町認知症ケアパス」作成委員会に平成 28 年 8 月より平成 29 年 3 月まで月 1 回（18：30～20：00）参加し、認知症ケアパス作成に取り組み、各事業所との情報交換・連携が図れた
- 様々な研修会（認知症・虐待・地域包括ケアなど）に参加したことで、改めて質の高いケアマネジメントの重要性を再認識して業務にあたる事ができた

平成28年度 ひばり園ヘルパーステーション 事業報告

1. 運営方針

- (1) 事業所の訪問介護員等は、地域住民が要介護状態・要支援状態になった場合においても、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように配慮して、身体介護その他生活全般にわたる援助を行う。
- (2) 利用者の人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービスを提供する。
- (3) 地域福祉の向上のため、市町村、居宅介護支援事業者、他の居宅サービス事業者、及びその他保健・医療機関と密接に連携を図り、総合的なサービスの提供に努める。

2. 事業活動状況

(1) 職員配置（平成29年3月31日現在）

8名

管理者1名（兼務）、統括1名、サービス提供責任者1名、訪問介護員6名（常勤4名、非常勤2名）

(2) 収入および稼働状況

| 提供月 | 収入（円） | 稼働人員（人） | 稼働時間（時間） | 稼働率（％） |
|-----|------------|---------|----------|--------|
| 4月 | 2,559,334 | 116 | 471 | 58.0 |
| 5月 | 2,798,130 | 116 | 506 | 62.3 |
| 6月 | 2,597,926 | 110 | 480 | 62.3 |
| 7月 | 2,373,620 | 116 | 443 | 54.6 |
| 8月 | 2,419,550 | 138 | 454 | 47.0 |
| 9月 | 2,437,690 | 127 | 470 | 52.9 |
| 10月 | 2,777,830 | 127 | 527 | 59.3 |
| 11月 | 2,435,580 | 121 | 464 | 54.8 |
| 12月 | 2,376,010 | 127 | 496 | 55.8 |
| 1月 | 2,632,280 | 127 | 500 | 56.2 |
| 2月 | 2,770,340 | 115 | 491 | 61.0 |
| 3月 | 3,439,420 | 127 | 606 | 68.2 |
| 合計 | 31,617,710 | 1,467 | 5,908 | 57.5 |
| 前年度 | 32,210,300 | 1,390 | 6,035 | 62.0 |

※稼働率＝稼働時間÷（稼働人員×実働可能時間7時間）×100

※実働可能時間については、事業所からひばり園までの移動時間を考慮し、8時間ではなく、7時間としている

(3) 介護度別利用者数

（単位：人）

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 要支援1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 要支援2 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 要介護1 | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 4 | 5 |
| 要介護2 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 4 | 5 | 5 |
| 要介護3 | 8 | 6 | 6 | 6 | 5 | 6 | 7 | 6 | 5 | 6 | 5 | 5 |
| 要介護4 | 2 | 4 | 5 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 要介護5 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 |
| 合計 | 16 | 17 | 18 | 15 | 14 | 16 | 17 | 16 | 16 | 19 | 18 | 19 |
| 前年度 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 17 | 17 | 18 | 18 | 17 | 15 |

3. 研修状況
 (1) 外部研修

| 日時 | 研修名・内容 | 講師 | 参加者 |
|-------------|---|--------------------------------------|-----------------|
| 平成28年6月27日 | 「介護サービスの質の向上に関する研修」 ・介護事業所のリスクマネジメント | 東北福祉大学総合福祉学部 準教授 菅原 好秀氏 | 羽田 栄子 |
| 平成28年6月28日 | 「認知症の中核症状と心理症状の理解」 | 認知症介護研究・研修センター 研修指導主任 合川央志氏 | 重泉 弥生 |
| 平成28年6月30日 | 「コミュニケーショントレーニング研修」 ・自分を上手に引出す方法 | 日本ケアカウニング研究所 所長 品川 博二氏 | 成澤 小百合 |
| 平成28年7月7日 | 「高齢者の医療と介護研修」 | 仙台楽生園ユニットケア施設群 総括看護師 小関 ゆみ氏 | 成澤 小百合 |
| 平成28年7月8日 | 「プロの対話技術を学ぶ」 ・レジリエンス(くじけない心)の心理学 | 日本ケアカウニング研究所 所長 品川 博二氏 | 小出じゅん子 |
| 平成28年7月22日 | 「元気の出るメンタル・タフネス講座」 ・行動形成法実技演習 | 日本ケアカウニング研究所 所長 品川 博二氏 | 小出じゅん子 |
| 平成28年8月23日 | 「サービス提供責任者研修セミナー」 ・地域包括ケアシステムの下での訪問介護事業 | 神奈川県立保健福祉大学 名誉教授 大田 貞司氏 | 羽田 栄子 |
| 平成28年8月25日 | 「ターミナル講座」 ・見取りの援助 | 特別養護老人ホームあだち 特養部門マネージャー 内山 彰吾氏 | 高桑 純子 |
| 平成28年8月29日 | 「中堅職員・管理者講座」 ・対人サービスのストレスをくじけない心に変える | 日本ケアカウニング研究所 所長 品川 博二氏 | 成澤 小百合 重泉 弥生 |
| 平成28年9月28日 | 「管理者・リーダーの人材育成研修」 ・指導・コミュニケーションに活かす効果的なほめ方と叱り方 | (株)アライブ・ワン 代表 後藤 美香氏 | 羽田 栄子 |
| 平成28年9月29日 | 「介護記録の記入方法研修」 | 仙台大学 準教授 山野 英伯氏 | 高桑 純子 |
| 平成28年10月26日 | 「認知症の基礎的理解研修」 | 主任介護支援専門員 野中 栄子氏 | 藤倉 礼子 |
| 平成28年11月8日 | 「認知症疾患の理解と治療研修」 ・レビー小体型認知症と前頭側頭葉型を中心とした理解と治療 | 富谷ファミリーメンタルクリニック 院長 佐藤 宗一郎氏 | 成澤小百合 |

| | | | |
|-------------|-------------------------|-----------------------------------|-------|
| 平成28年11月22日 | 「失禁は予防できる！排泄ケアの新しい視点研修」 | (株)クララケア・サポート館 亜美氏 | 藤倉 礼子 |
| 平成28年11月26日 | 「介護サービス担当のためのストマケア講習」 | 大崎市民病院 皮膚・排泄ケア認定 看護師 細谷 裕子氏 | 羽田 栄子 |

(2) 内部研修

| 日時 | 研修名・内容 | 講師 | 参加者 |
|-------------|-----------------------------------|--------------------|---|
| 平成28年4月26日 | 「認知症及び認知症ケア研修」 | サービス提供責任者 羽田 栄子 | 三浦 壽 小出じゅん子 成澤 小百合 高桑 純子 今野 幸子 |
| 平成28年5月31日 | 「介護職員の接遇研修」 | サービス提供責任者 羽田 栄子 | 三浦 壽 小出じゅん子 成澤 小百合 重泉 弥生 佐々木光子 |
| 平成28年6月30日 | 医療・感染症・食中毒の予防研修」 | サービス提供責任者 羽田 栄子 | 三浦 壽 小出じゅん子 成澤 小百合 重泉 弥生 佐々木光子 |
| 平成28年7月26日 | 「倫理及び法令順守研修」 「個人情報・プライバシー保護研修」 | サービス提供責任者 羽田 栄子 | 三浦 壽 小出じゅん子 成澤 小百合 重泉 弥生 高桑 純子 |
| 平成28年8月30日 | 「認知症ケア研修」 ・認知症状のある方へのケア方法 | サービス提供責任者 羽田 栄子 | 三浦 壽 小出じゅん子 成澤 小百合 藤倉 礼子 高桑 純子 |
| 平成28年9月22日 | 「訪問介護員の接遇研修」 | サービス提供責任者 羽田 栄子 | 三浦 壽 成澤 小百合 藤倉 礼子 高桑 純子 今野 幸子 |
| 平成28年10月28日 | 「事故・非常時の対応研修」 | サービス提供責任者 羽田 栄子 | 三浦 壽 成澤 小百合 重泉 弥生 高桑 純子 今野 幸子 |
| 平成28年11月29日 | 「介護予防・口腔ケア研修」 | サービス提供責任者 羽田 栄子 | 三浦 壽 小出じゅん子 成澤 小百合 重泉 弥生 藤倉 礼子 今野 幸子 |
| 平成28年12月20日 | 「認知症ケアの際の介護職員の心構え」 | サービス提供責任者 羽田 栄子 | 小出じゅん子 成澤 小百合 重泉 弥生 今野 幸子 |
| 平成29年1月31日 | 「訪問介護員の接遇研修」 | サービス提供責任者 羽田 栄子 | 三浦 壽 成澤 小百合 重泉 弥生 藤倉 礼子 今野 幸子 |
| 平成29年2月23日 | 「入浴・清拭・整容サービスの向上研修」 | サービス提供責任者 羽田 栄子 | 三浦 壽 小出じゅん子 成澤 小百合 重泉 弥生 藤倉 礼子 |

| | | | |
|------------------|-----------------|--------------------|---|
| | | | 高桑 純子 |
| 平成 29 年 3 月 28 日 | 「身体拘束排除・虐待防止研修」 | サービス提供責任者 羽田 栄子 | 三浦 壽 成澤 小百合 重泉 弥生 藤倉 礼子 今野 幸子 |

《評価》

- 平成28年度の利用者数は、前年とほぼ同数であったが、施設替え等により要介護度の高い方の利用者が減少となったため、事業収入は、前年に比べ若干の減額となった
- 職員研修については、職場内研修と共に外部研修への積極的な参加が促進され、職員のサービス意識・介護スキルの向上が図られたと評価する